



吉井吉一さん



清野慎栄さん



田代芳夫さん



山際信三さん



永井千恵子さん



乙川 勉さん

視察したスポーツ施設は、ブローニュの森の中にあり、環境的にすばらしいと思っただ。しかし、温水プールに屋根がなく、冬はどうするのだろうかと感じた。スポーツ施設を作るにはトレーナーが必要。

フライブルグでは、脱原子力という観点から始まった省エネ対策をやっていた。また、パリでは凱旋門のライトアップなど夜景がすばらしかった。黒埼も景観を考慮して電柱のないまちづくりをすべき。

フライブルグ市のゴミ埋立地は植林をして景観に注意を払い、また、そこから発生するメタンガスを利用して、景観もよくムダがないと感じました。研修に参加できてとても良かったと思います。

スケジュールが少し過密だった。フランスの人は、自分の健康は、金を出しても自分で守るといふ考え方を持っていて、高齢者の方もプールを使って健康づくりに励む姿が印象的だった。

フライブルグ市はゴミについて色々なことをやっている、環境を守ろうとする市民の心がいろいろな法律をつくり、市民行政・企業が一体化したシステムを作っていると感じました。

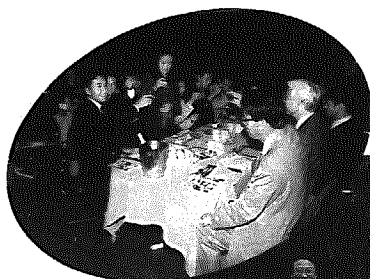
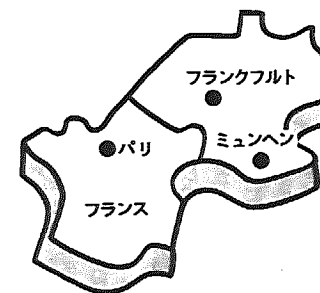
研修に参加して、町並みの美しさに圧倒されました。歴史があり新旧の調和が保たれ、自然を保護している点などがすばらしかった。研修を終えて今まで無感だった黒埼のまちづくりに感心をもった。

ドイツ・フランスのみやげ話

第1回町民海外研修報告会

これからの「まちづくり」は行政側だけで行うものではなく、住民の皆さんとともに行う必要があります。まちでは、これからの「まちづくり」を担う住民のかたに、「国際的な視野」を身につけていただき、よりよき「まちづくり」の一員として行政に参加していただこうと、今年度より町民海外研修を実施しました。

今年度の主要研修目的は、「ごみ問題」と「スポーツ施設」でしたが、12月5日に研修の報告会が行われましたので、参加者のかたの報告をここで紹介いたします。どの参加者も8日間の旅を経て、友情の輪が広がったようで、和気あいあいとした雰囲気なかで報告会が行われました。(紙面の都合上、要旨のみ)



セーヌ川ディナークルーズでドレスアップして乾杯



ベルサイユ宮殿の鏡の間でおもわずおすまししてパチリ



レーシング・クラブ・ドゥ・フランスで記念撮影



永井武弘さん



原 祐司さん



坂井弘子さん



大野キノイさん



逢坂信行さん



赤川 修さん

ドイツは車を使わない政策(電車チケットの発行)をとっており環境保護の姿勢がうかがえた。また、歩道には、広い自転車道が整備されていた。この研修で一番の収穫は人と人の和ができた事だ。

日本では、京都など観光都市では景観に注意してきれいだ、フライブルグ市は観光都市でないのにきれいなので驚いた。また、視察地は、ブロック壁や壁垣がなく空間の広がりを感じた。

今回参加できて非常に良かった。フライブルグ市の広報担当課長さんの話だと、清掃会社に持ち込まれたゴミは再度分別する必要のないほど分別されていて、子供の頃から躰がしっかりしているとか。

フランスの「レーシング・クラブ・ドゥ・フランス」はすばらしい施設で、会員制で会員数一万六千人という大規模なものでした。このクラブから前のオリンピックに四十五名が参加したそうです。

ドイツは国中でごみのリサイクルについて「コンクール」を行って、その対策を競い合っていた。また、食事を質素にして、それがごみの減量化につながっているように感じた。

フライブルグ市では車道と歩道の間にきれいな小川が流れていたが、これは以前に農業用に使われていたものを残して、まちづくりをしたと聞いた。自然を出来るだけあるままにする姿勢に感動した。